

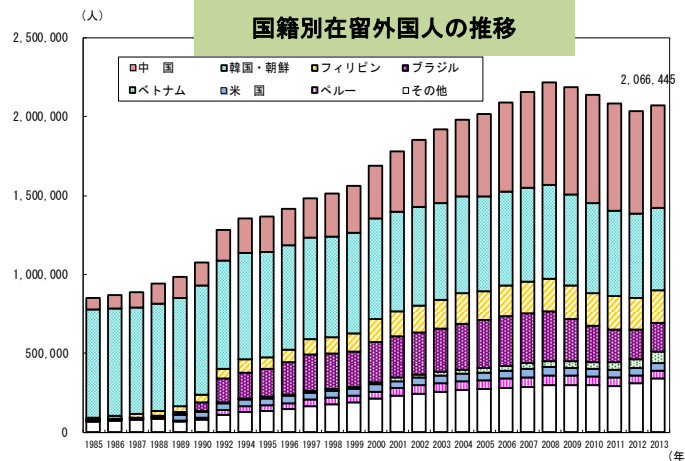
立川市第3次多文化共生推進プランの概要



第1章 多文化共生を巡る日本社会 P1~P4

1 多文化社会日本の到来

グローバル化に伴い、世界は身近になっています。在留外国人数も増え、日本に居住する人の国籍・民族・文化は多様化しています。



2 多文化共生に向けた動き

総務省の多文化共生に関する動きについて述べています。

また、外国人にも住民基本台帳制度が適用されるようになりました。

3 オリンピック・パラリンピックに向けて

オリンピック・パラリンピックに向けた、国と東京都の動きについて述べています。

第2章 立川市第3次多文化共生推進プランの趣旨 P5~P9

1 策定の背景

プラン策定に至るまでの立川市の状況と背景について述べています。

3 計画の期間

平成27年4月から平成32年3月までの、5か年計画です。

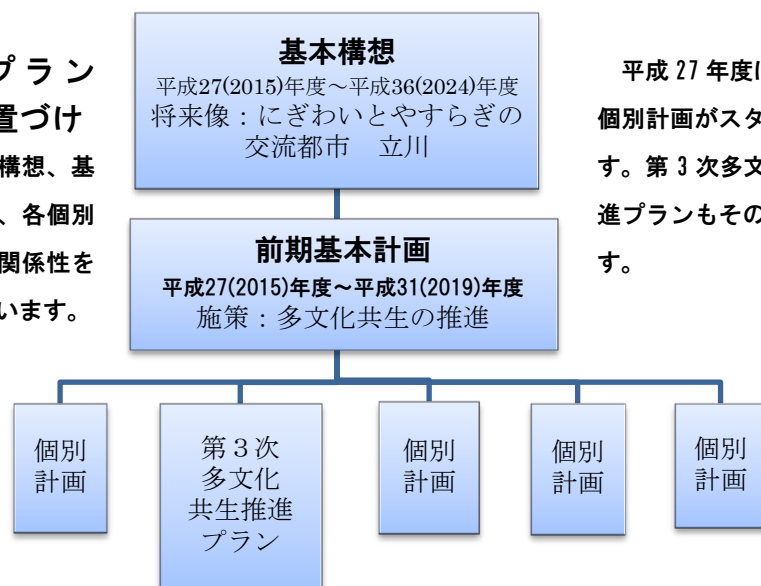
4 策定の経過

立川市が今までに行ったプランに関わる事項の一覧です。

- ①第2期多文化共生推進委員会報告書
- ②第3次多文化共生推進プラン検討会議提言書等

2 プランの位置づけ

基本構想、基本計画、各個別計画の関係性を示しています。



平成27年度は、多くの個別計画がスタートします。第3次多文化共生推進プランもそのひとつです。

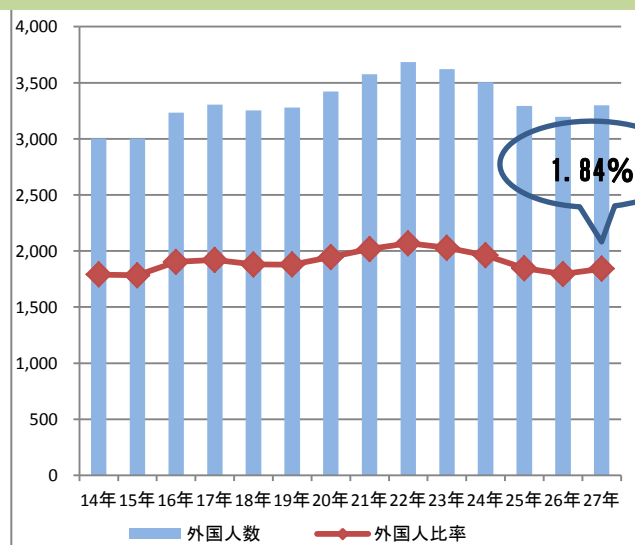


第3章 立川市の現状と課題 P10~P16

1 立川市在住外国人市民の状況

本市に住民登録をしている外国人市民数は、平成27年1月1日現在3,298人、総人口の約1.84%です。

立川市の外国人数及び外国人人口比率の推移 (H14~H27)



2 市内の主な関係団体の状況

立川・サンバーナディノ姉妹市委員会、立川国際友好協会、NPO法人たちかわ多文化共生センター等、市内で活躍している国際交流団体について述べています。

3 立川市在住外国人意向調査結果から見る課題

平成25年に行った調査から、在住外国人の生活上の問題点を把握しています。

第4章 プランの概要 P17~P19

1 ビジョン (目指すべき将来像)

国籍や民族などの異なる人々が、文化のちがいを互いに尊重し、共生する地域社会の実現

ビジョンを実現するための施策の体系は、裏面をご覧ください。

第5章 取組項目 P20~P43

本プランでは、施策の柱を4つ、施策を13、取組項目を34項目、具体的な事業として42事業を挙げています。

これらの取組項目については、今後、事業の進捗調査を行い、多文化共生推進委員会で検証・評価を行います。